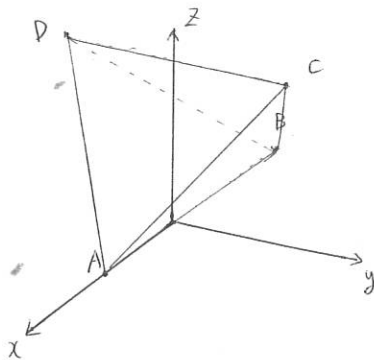


2017年理系第3問

増田

3 座標空間内の4点  $A(1, 0, 0)$ ,  $B(-1, 0, 0)$ ,  $C(0, 1, \sqrt{2})$ ,  $D(0, -1, \sqrt{2})$  を頂点とする四面体  $ABCD$  を考える. このとき以下の問いに答えよ.

- (1) 点  $P(0, 0, t)$  を通り  $z$  軸に垂直な平面と, 辺  $AC$  が点  $Q$  において交わるとする.  $Q$  の座標を  $t$  で表せ.  
 (2) 四面体  $ABCD$  (内部を含む) を  $z$  軸のまわりに1回転させてできる立体の体積を求めよ.



$$(1) \vec{AC} = \vec{OC} - \vec{OA} = (-1, 1, \sqrt{2})$$

点  $Q$  は直線  $AC$  上にあるので

$$\vec{OQ} = k\vec{AC} = (-k, k, \sqrt{2}k)$$

とおける ( $k$ : 実数)

$$\vec{OQ} = \vec{OA} + \vec{AQ}$$

$$= (1-k, k, \sqrt{2}k)$$

$Q$  の  $z$  座標は  $t$  なので,

$$\sqrt{2}k = t \quad \therefore k = \frac{t}{\sqrt{2}}$$

$$\vec{OQ} = \left(1 - \frac{t}{\sqrt{2}}, \frac{t}{\sqrt{2}}, t\right)$$

$\therefore Q$  の座標  $\left(1 - \frac{t}{\sqrt{2}}, \frac{t}{\sqrt{2}}, t\right)$  #

- (2) 四面体  $ABCD$  は  $x, y, z$  軸すべてに関して対称なので, 辺  $AC$  を  $z$  軸まわりに回転したものと考えてよい.  
 $z = t$  において, 辺  $AC$  を  $z$  軸まわりに回転させた立体の切り口は,  $x^2 + y^2$  の円になる.

$$x = 1 - \frac{t}{\sqrt{2}}, \quad y = \frac{t}{\sqrt{2}} \text{ を代入して.}$$

切り口の円の半径  $r$  は

$$r^2 = \left(1 - \frac{t}{\sqrt{2}}\right)^2 + \left(\frac{t}{\sqrt{2}}\right)^2 = t^2 - \sqrt{2}t + 1$$

切り口の円の面積  $S(t)$  は

$$S(t) = \pi r^2 = \pi(t^2 - \sqrt{2}t + 1)$$

求める体積  $V$  は,  $t$  が  $0 \sim \sqrt{2}$  まで  $S(t)$  を足しあげたもので,

$$V = \int_0^{\sqrt{2}} S(t) dt$$

$$= \pi \int_0^{\sqrt{2}} (t^2 - \sqrt{2}t + 1) dt$$

$$= \pi \left[ \frac{t^3}{3} - \frac{\sqrt{2}}{2}t^2 + t \right]_0^{\sqrt{2}}$$

$$= \frac{2\sqrt{2}}{3}\pi \quad \#$$